



高貴幸齢者の独り言

先月めでたく？ 75歳の誕生日を迎え「高貴幸齢者」のお仲間入りをした。息子のおかげで70歳から週一度の勤務医でほぼサンデー毎日のお気楽生活を楽しんでいる。

そんな日々の中で年にたった4回の苦行がある。それは「ほほえみの原稿を書く」ことだ。昭和36年8月発刊以来毎月一度も休まずに続けて来た。なんと今月号は478号である。若い時はあんなに忙しい中で毎月巻頭の原稿を苦もなく書いていた。

しかしである、こんなに時間にゆとりがあるというのに原稿締め切りの1ヶ月前から準備してもなかなか文章が出来ない、何故だろう。昨日遂に編集を担当している娘から優しくも厳しく「明日中に」とご注意を頂いた。いよいよお尻に火がついた。書き始める時は取り溜めたエッセイや新聞記事、関連する本など次々と読み漁る。どの文章もその内容の素晴らしさに感心してばかり。そして時間だけががどんどん過ぎていくのだ。しかしお陰で沢山の人生を活字から教えられ、豊かで幸せな高貴幸齢者時代を送るための沢山のヒントを得る事となる。さて今月号はこれぐらいでお許し頂き次は500号を目標にして、さあもうひと頑張り。

西村 吉行

お薬の供給不足

先日、風邪で耳鼻科にかかったところ、「処方箋は出しますが、お薬が品薄なのでもし薬局で手に入らなかつたら諦めてください...」と言われました。ニュースでも報道されている通り、お薬の供給不足が続いていますね。

発端は、2020年にジェネリック医薬品（後発医薬品）メーカーで製造上の不正が発覚したことでした。その後、他の製薬会社でも問題が発覚し業務停止命令や業務改善命令が発令され、多くの医薬品の製造・供給が停止、出荷調整が行われるようになりました。さらに、医薬品の原材料が輸入に頼っていることによる影響や、感染症の大流行で需要が増加したことなど、他にも様々な要因が重なりこの問題が長期化しています。

状況が早く改善されることを祈りますが、この機会に予防など日ごろの体調管理を強化したり、複数の病院にかかり多剤を併用されている場合は服用しているお薬が全て必要なものかどうかお医者さんと相談して見直したりすることも大切かもしれません。

医療ライター 妹尾 淳子

歯からツノが生えてきた？！

歯の噛む面の真ん中にぽこっとツノのような突起が見られることがあります。これは中心結節といいます。手前から4番目と5番目の小白歯と呼ばれる歯に多く見られます。

放置するとどうなるか ...

噛んだり、歯軋りをした時に突起がポキッと折れてしまう可能性があります。突起の中には神経の管が通っています。折れてしまうと中の神経が見えてしまい、そのまま神経が死んでしまう可能性があります。「噛むと痛い」「急に歯がしみるようになった」などの症状が出た場合は要注意です。また、突起があることでよく噛めないため歯垢がたまりやすくなり虫歯のリスクになります

ではどうすればいいの ...

お家で見つけた場合は歯科医院を受診しましょう。

歯医者で見つけた場合は

①突起を少しずつ削り神経を傷つけることなく高さを減らします。

②折れないように根本部分に白い樹脂をいれて補強します。

このように処置することで折れることを防ぐことができます。



歯の形態異常には、通常の歯と比べて歯の大きさがかなり小さい矮小歯（わいしょうし）や、2本の隣り合った歯がくっついて1本になって生えてくる癒合歯（ゆごうし）などがあります。

この他にもたくさんの種類がありますが全て治療が必要というわけではありません。まずは一度お口の中を観察してみましょう。ただご自身ではなかなか気付けないことも多いです。歯科医院に定期的に受診して、早期に発見しましょう。

歯科衛生士 新谷 萌子

開院 45 周年パーティーを開催しました

当院は今年の2月1日に45周年を迎えました。この大きな節目を記念して、日頃お世話になっている方々をお迎えし、45周年パーティーを開催しました。長い間当院を支えてくださった皆様に感謝申し上げます。これからも50年、60年と迎えられるよう日々精進して参りますので西村歯科をどうぞ宜しくお願い致します。